

## 商工会青年部との意見交換会 会議録

- ・日 時 平成30年2月8日(木) 午後4時～6時
- ・場 所 千代田町役場 3階全員協議会室
- ・出席者 商工会青年部員16名、千代田町議会議長、千代田町議会議員11名、  
商工会長(あいさつのみ)、議会事務局2名、商工会青年部事務局

- 
1. 開 会 商工会青年部原口副部長
  2. 挨拶 高野商工会長・斉藤青年部長・襟川議長
  3. 自己紹介
  4. 協議事項 座長：田熊青年部顧問・襟川議長

### (1) 昨年の質問事項の進捗状況について

#### 高橋副議長(議会改革委員長)

所管が福祉産業常任委員会になるので執行部側と意見交換をした。

買い物弱者対策 経済課商工業の現状と課題 2016年内閣府の調査では全国で700万人の買い物弱者がいる。消費者行政の観点から

1 JA 邑楽館林永楽支所で永楽マルシェを開催、内容は農産物・加工品・草花の販売 偶数月の毎週木曜日 (注:毎週木曜日→○第2木曜日)

2 ジョイフル本田千代田店 宅配ネット販売お手軽便 平成29年11月開始した電話注文

3 ジャパンミート千代田店 宅配

4 番目民間団体が直売所 これは桧内地区の方々が野菜の直売をやっております。

5 町外の事業者 生協パルシステムを利用している方もいる

経済課から買い物弱者に対してこのようなことをしていると説明があった。

安心福祉サービス事業が昨年8月から始まる平成30年1月24日現在協会会員8名  
サービス利用者3名 サービス内容は清掃と買い物代行 利用者がまだまだ少ないのでワンコインで利用できるこのサービスをもっとPRをしていきたいと感じている。

#### 観光について

東武トップツアーズ 平成28年度3月11日、19日2回実施 平成29年8月26日、9月2日2回実施 木崎公民館でコケ玉つくりや斉藤農園でイチゴ30分食べ放題のツアーが組まれた。今年も3月17日、21日ツアーが予定されている。イチゴ食べ放題、野菜収穫や千代田のコメを使ったイチゴ大福つくりを実施。過去には白菜収穫やニガウリ収穫体験を実施し今後も千代田町の魅力を町外に発信し、流動人口の増加を踏まえ定住促進につなげたいと町では考えている。

#### 6次産業について

邑楽館林管内の取組みの例 野菜果物の乾燥化商品として邑楽館林ドライベジフル

という呼び名で展開している。課題点として年間売り上げの伸び悩み、販路拡大、団体構成員の高齢化(60歳以上 53%) 平成 25 年小型電気熱風機を利用したドライ加工 千代田町近隣市町 群馬県 6 次産業サポートセンター 館林地区農業指導センター JA との連携をしながら課題に取り組む。

以上のように町から説明がありました。

今回も青年部と意見交換をしながら議会としても町へ提言していきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

以上で報告を終わります。

座長(田熊顧問)

ただ今の報告について青年部から何かありますか？

無いようですので、これからは新たに青年部より質問や要望事項等について、斉藤部長から順次質問させていただきます。

斉藤部長

千代田町新福寺でイチゴを作っている斉藤と申します。コメもイチゴもやっており、米・麦も祖父の代からやっていますが千代田町は近隣のなかでも農家も多くの多くの田んぼを持ってやっておる農家の件数も多いと思います。

その中でビール麦について 地元企業のサントリーの買い上げ分も多くあり、千代田でも多くの麦が作られています。先日の大泉の企業情報交換会のなかで村山町長が千代田町・邑楽町・大泉町としてサントリーを推していこうと話されていた。

ビールの原料となる麦を今後も高齢化が進んでもしっかりと生産していかななくてはならないと思っている。その時に必要となるのがほ場整備だと思う。赤岩のファミリーマートから東の土地は整備されて1枚も広がっている。水路も広くて農家も使いやすいと聞いている。舞木のほうは作っていないが地元の話の話を聞くと水路も狭く時期によっては枯渇してしまう位少なく大変だと聞く、今後町としての農業生産についてお話していただきたいのでよろしくお願いいたします。

座長(襟川議長)

圃場整備については、今畦畔撤去事業による規模拡大を実施していますので、この辺のところを柿沼議員から話してください。

柿沼議員

ほ場を大きくすることで生産性を上げて行くことになる。赤岩、木崎、瀬戸井では用水と排水が整備されている。麦の生産をするには排水がよくできないといけないので、排水路を付きのほ場を整備し裏作も作っている。舞木方面のほ場は排水の無い用水路だけなので小麦を主体として作っている。ビール麦は大雨などに弱いので排水整備の整ったほ場が必要になる。区画整理事業は国の補助金が必要でさらに農家負担も出てくる。

上中森地区のほ場整備計画はおぜん立てができていたが頓挫してしまった。  
今後はほ場を広げることが大事になると思います。

斉藤部長

柿沼議員の言うように一昨年の大雨の際は、自分も消防団員として中島の冠水してしまっただけに行き排水作業に加わった。農家としては不本意であるが農業用排水はその様なときにも役立っている。

今後 5 年後 10 年後には農家も少なくなり休耕地も増えていくと予想される中、災害時の水の逃げ場としてとらえると農地の拡大や水路の整備は農家だけの問題ではなくなってくるので、工業用地の話もありますが農業用地の整備もこれからの課題であると思います。

大谷議員

1 枚 3-5 反のほ場で大型機械を入れてできればアメリカ式ではないにしても効率が良いが、田んぼによって地力が違うため交換することを嫌がり集積化をすることが難しい。天神原では傾斜があるため水問題をでてくるため個人間で交換することはできない。

耕作地の少ない農家が大農家に預けていたのを農業委員会などの力を借りてうまく交換し集積化をすれば効率化が図れると考えている。

斉藤部長

自分も農業をやっている田んぼによっては作りやすい所と作りにくい所があり大きくすることは難しいし、ほ場整備された大区画の所は作りやすいので人気もあり農業を推進していくのであれば今後は大区画を考えていかななくてはならない。

座長(田熊顧問)

最近荒廃地が目立ってきているが、町ではマッチングのようなことはやっているのか？

柿沼議員

農家同士相対での貸し借りが主流であるが、これからは県が主体となった農地中管理事業によりマッチングするために、町と J A が協力してやっていく方向性がある。

貸し手にも補助金が出る仕組みもあり、今後は中間管理事業により進んでいくと思われる。

これは貸し手が土地を提供し、希望する農家が借りられるようマッチングをしていくが安心できる制度だがまだまだ利用率が低い。

座長(田熊顧問)

次に坂本副部長から質問します。

坂本副部長

ふるさと納税について質問いたします。

昨年斉藤農園と一緒に参加させてもらったが、実際どれだけの応募があったのかと今後ふるさと納税についてどのようにお考えなのかを聞かせてください。

私は野菜作りをしていてナス、ホウレンソウ、白菜、オクラとトマトを少々野菜の品種が少量ですが今後品種を増やして町のイベントに積極的に参加していきたい。

そこでジョイフル本田西にできる商業用地の中にアンテナショップまたは物産館などはできないでしょうか？

柿沼議員

ふるさと納税の返礼品として季節限定の野菜セットを提供していただけると良いので、総務課に相談していただきたい。

襟川議長

これからの返礼品はモノだけではなくて体験型の返礼品を町では考えている。

皆さん若い方にも体験型の返礼品を考えていただきたい。

橋本議員

自主財源を確保する手立てがない中、有効なツールとしてのふるさと納税に町でも力を入れて取り組んでいる。全国にはいろいろな種類があるので、先ほど出た体験型とか高額納税者には月替わりのパッケージを考えるなど皆さんのアイデアを町側へ提案して欲しい。

座長(田熊顧問)

今年度まだ終わっていないが、イチゴや野菜の返礼品についてのリアクションはありますか？

座長(襟川議長)

(議会事務局：11月現在で980万円)

詳しい金額等については不明なのでまたの機会に

酒巻議員

ふるさと納税は1500万円くらい入ってきておりさらに増えており、大きな伸び率で年々増加している。町の第7次総合計画案の中でもふるさと納税について力を入れていくとしている。青年部の皆さんも知恵を絞って1円でも他の自治体から勝ち取るため協力をしていただきたい。

斉藤部長

出品するほうも大事だが、インターネットなどでも皆に見てもらえるような対応をし

て選ばれやすいような工夫をしてほしい。

座長(田熊顧問)

ジョイフル本田西にできる予定の商業施設内に、町で一角を借りるなどして町の物産のPRをすることができるかどうかについては

高橋議員

国内大手の企業が入ると聞いているが、千代田町の物産展をPRできる場所ができればよいが、契約が済んだ時にはすべてが決まっているかもしれないので、議会側からも執行部側にも申し入れをしていきたい。

座長(田熊顧問)

決まってからでは話ができなくなるかもしれないので、それ以前に話をする必要があるので、町側から一区画でも使えるようにしていただけると青年部としても町の物産としてもPRができるようになると思う。ジャストの一角に空いているところがあるのでそこでも良いが、せっかくなのでたくさんの方が集まるところに出られれば、わざわざ道の駅を建てなくても良いので一つの案として考えられるのでよろしくお願ひしたい。

坂本副部長

(PRする場所については)空き店舗を利用しても良いのではとの考えもあり質問しました。青年部員は異業種の集まりでありその様々な異業の人が活用できる場所を提供していただきたい。

高橋議長

逆に青年部でやりたいことはありますか？

坂本副部長

個人的には青年部は異業種の集まりなので、各業種の方がそこを利用して町をPRすることで事業者と町の活性化につながるのではと思う。

青年部としての意見集約はしていない。

森議員

ふるさと納税の件では自社製品を登録した際に、サイネックスという会社が相談に乗ってくれた。ふるさと納税サイト以外の自社サイトにも掲載することができ、これにより自社の信頼度が上がるというメリットもあり、さらに自社製品を宣伝した際に町も同時に宣伝できることになり販路が増える。

自社製品を出品することで自社と町を宣伝することができるので是非協力していただきたい。

座長(田熊顧問)

成功事例を聞いているので青年部としても積極的に取り組んでいきたい。

商業施設については是非出展できる場所を提供していただきたい。

また隣接の住宅用地も空いているので、部員の中にいる建築業や造園業、農産物もPRしていけるのではと考えている。

細田議員

ふるさと納税については自分製品を返礼品にと考えている人もいると思うが、返礼品には金額的な限度があるのであまり使ってもらえないような気もするが、昨年12月は1か月で1千万近くの納税があった。現町長はふるさと納税に力を入れていて、返礼品を多くしたり工夫しているのでまだ伸びると思っている。

28年度に比べ比較にならないほど寄付が多くなってきていて、1か月で1000万円の寄付の2割が返礼品に充てられるのであれば数百万円になるので、青年部も意気込んで考えていくための力になるのでは思うくらいふるさと納税が増えていることを承知していただきたい。

座長(田熊顧問)

青年部でふるさと納税の勉強会を開いていい案が出せるようにしてください。

中島副部長

(3)町の将来についての中で高齢者の車社会について質問いたします。

私は赤岩で自動車の修理・販売をしていて気になっているのが、ペダル踏み間違いや高速道路の逆走、女子高生を巻き込んだ高齢者の交通事故で、千代田町でも少子高齢化が進むなか高齢のドライバーも増えてきます。

町内でもこのような事故が起きないように対策が必要となってくるので、高齢者の講習会や免許の返納を促すなど方法があると思うが町としてはどのような対策を考えているのか聞かせてください。

川田議員

千代田町の高齢者ドライバーの現状は、あまり免許返納等進んでいない。今後どのようにしたらよいかについては、補助金を出すなどで自動車に代わる別の交通手段を町でも考えているが返納率が上がってこない。今後の課題として早いうちに対策をしていかなくてはならないと思っている。

中島副部長

町では返納者に対して歩行電動自動車購入補助をしているが、普段の買い物や病院通い、農業業をするために返納は進まない。

ソフト面でも安全講習をやっても人間なのでミスは起こってしまう。ハード面として各自動車メーカーが開発に力を入れている先進安全自動車、中でも衝突被害軽減ブレーキ搭載自動車の新車購入補助があったら良いのではないか。

現状軽自動車5-8万円、普通自動車10円を超えるので負担となってしまうなかなか付けられない。独自に補助を行っている団体が増えてきている、香川県、東京都桧原村、愛知県豊田市・刈谷市などがあり、近隣でも昨年からは明和町で5万円の補助を始めた。大泉町でも本年4月から5-10万円の補助を出す方向で話が進んでいると聞いている。

スバル自動車発表によるとアイサイト搭載車の事故が6割減、対歩行者5割減 追突事故8割減ととても大きな効果が出ている。千代田町としても是非導入の検討をしていただきたい。

大澤議員

千代田町は公共交通機関が発達していないなか免許の自主返納は難しいと感じている。自主返納者は28年21名 29年1月から5月で15名 自主返納者が町の電動自動車補助を申請した件数1件と少ない現状である。明和町・大泉町での取り組み 自動車保有率全国第1位？交通機関の発達していない千代田町なので積極的に取り組んでいくべきと感じているので頑張って行政に訴えかけていきたい。

座長(襟川議長)

町の回答はどうなっているか

大澤議員

現在補助しているもののみの回答であった。

中島副部長

早期に導入していただき、高齢者が被害者にも加害者にもならないように、今まで以上に安心して暮らせる千代田町にしていただきたい。

座長(田熊顧問)

自主返納には結構勇気がいる。みんな口をそろえて言うことが「こんな町じゃ車乗んなきゃ何処にも行けねえ」、電動アシスト自転車で大泉まで行ってくるのは大変。

東京から帰ってくるのに、館林駅・熊谷駅についてもだれか迎えに来てもらわないとどうにもならない。

免許を返納させるためには公共の移動手段が必要と思うし、自分が高齢になったときに免許を返納することはできない。未然に事故が防げるのであれば必要な補助と思うので執行部へ訴えていっていただきたい。

高橋副議長

高齢者に補助金を出すのはいいことなのでその際は地元業者買ってもらう前提で。

橋本議員

今の話の流れの中で、補助金を取りやすくするために千代田町の業者から買ってもらえれば補助金がでるというなかで、お客さんが手続きをするのではなく補助金分を値引いて販売し、業者から補助金を申請するというスキームを提案すれば補助枠を取りやすくなるのでは思う。

酒巻議員

先ほどから高齢者という話が出ているが、免許取りたてや 20 代の事故率の高い若者についても考えていかななくてはいけない。

近隣で補助金を出しているところもあるので自分としても訴えていきたい。

千代田町 28 年度 物損事故 20-24 歳 47 件 25-30 歳 35 件 明和・大泉町補助金対象の 65 歳以上だと 40 件で、若者のほうが事故率が高いので考えていきたい。

中島副部長

事故率からすると若者のほうが高いので、予算があればみんなの安全のため年齢を区切らずに該当するようにしていただきたい。

座長(田熊顧問)

事故を起こさない千代田町民を目指しましょう

次の質問は関口君お願いします。

関口部員

防災に関して何点かお聞きします。

千代田町は利根川に面しておりて水害に対する防災が重要と考えています。

千代田町のハザードマップで初めて知ったが、町の大部分が 2m の浸水区域になっていることに衝撃を受けた。住民が避難をするときにハザードマップ以外の参考となる資料があるかお聞きしたい。

酒巻議員

町としてはハザードマップが頼りになってしまうが、現在の 2008 年度版の改訂版を今年度新たに作成中と聞いている。昨年 10 月の台風の際は消防団が早朝より水位監視活動をしていたが、地震と水害では活動内容や避難場所も変わってくる。マップがあるから安心かということではなく周知徹底して行くことが大事。地域は自分たちで守るという考えが中心となっている一般的となっていて、町内 9 が所で自主防災組織を立ち上げてきているので地域のことは皆で助け合っていくというのが良いのでは

と考えている。商工会の青年部も地域のリーダーとして協力していただきたい。

#### 関口部員

このハザードマップでは地震の時、何を持っていくべきかが書かれているが、水害の際の避難場所や所持品が書かれていないので避難場所への経路やどんなものが必要かなど書かれていると分かりやすいのでは。

#### 大谷議員

避難勧告や避難指示が出た際それから逃げるのでは足の不自由な人などには遅い、利根川の水位が上がってきて危険と感じたら、早め早めに高台に逃げるしかない

明治の水害の際は新福寺、福島、天神原以外はほとんど水に漬かってしまったと聞いているので、早めに逃げるしか方法がない。現在町内の防災協定を結んだ工場などの丈夫な建物に 1886 人分の収容が可能であるが、逃げるのは昼間だけではないので夜間などが閉まっていることも考えて防災計画に入れて欲しいと伝えた。

皆で情報を共有して早め早めの避難が大事。

#### 座長(田熊顧問)

(避難勧告など) 町内放送のタイミングというのは決まっているのか

#### 大谷議員

土手の何段目かで放送するとかはないと思うが、伊勢崎市の八斗島で計測をしているが指令を出すのが遅くなって手遅れになっては困る、不発でも良いので町は早めに決断をしていただきたい。

#### 柿沼議員

避難準備情報が出たときに高齢者などは避難を始めるのが大事、岩手の川辺にあった福祉施設が流されたのは避難準備情報を早く出さなかったことで起きた。(この事故後)副町長は空振りでもいいから早めに指示を出そうと言っていた。

#### 小林議員

大谷議員の補足です。

利根川が決壊した時には逃げるところがなくなってしまい、高い所に逃げるしかない、委員会で新潟に視察に行った時の話の中で参考になったのが、新潟平野が浸水した時の避難場所は、役場やパナソニックなどの大きな会社の 2 階以上の建物になる。

千代田町ではジョイフル本田の 2 階を借りるなど民間の力を借りるように進めていきましょうと総務課長に提案した。

1,886 人分だけではなくもっと多くの人々が避難できるようにしていきたい。

南海トラフ地震の可能性が高いと言われているが、千代田町では津波ではなく河川が決壊して大水がいきなり来たらどうするか、夜間であった場合は逃げようがない。

これを互助会的な発想で、近所の会社事務所など鉄骨造り建物を持つ人に普段からお願いをしておく方法もあり、そうすれば家族だけでも守ることができるという方法も提案していきたい。

遠くに逃げるためには交通手段が必要なので、いずれ新福寺の里山を利用した仮設テントも張れる避難所が必要と考えるので、費用の面ですぐには言えないがこれからも提案していきたい。

#### 川田議員

自主防災組織が昨年 11 月に 16 区、12 月に 15 区で立ち上がった。高齢者が多いが若い人にも入っていただき、これから行政の指導を受け防災に地域で取り組んでいただけようなればと思う。

#### 関口部員

現在全国商工会青年部連合会では、大規模災害が発生した際の災害協力のガイドラインを作成中、実際に災害がおきた時には連合会を通じて全国から物資や人材を供給できるようになっているので、今後行政と連携していく方法を考えて行ければと思う。

#### 高橋副議長

自主防災組織のリーダーに皆高齢者になっているが、災害時は若い人が協力して動いていく必要がある。福島でも数年前自分が発起人となって組織化を提案したが地元役員から（そんなことは面倒だから）「余計なことはするな」と反対されたことがあったが組織することができた。年 1 回訓練をやっていて始めは担架づくりなどをしたがその後は炊き出しばかりで意味がなく、訓練の大切さは災害がないと分からない。

若い人がこの町を守るという意識が大きくなってくるといいなと思っている

#### 川田議員

救援物資については商工会の全国組織でできているのか？

#### 座長(田熊顧問)

災害の大きさに応じて近県からの支援物資や人員を送る協定はできている。例えば千代田町が洪水の被害に遭ったときは近県から手伝いや支援物資、支援金が送られてくるようになっているが、その時は商工会が単独でやらなくてはならないので、町とのすり合わせ今のうちにしておく必要があると感じている。日本青年会議所（JC）などの全国組織では災害支援マッチングというものを進めている。

団体ごとにやるのではなく統一的にやっていくために、町と青年団体で取り決めを作っておくのが良いのでは、自主防災が立ち上がっているからそれでいいという訳で

はなく、青年団体との連携や総合的に指令を出せる人間がいないと困る。

実際常総市の水害の時にはまだルールができておらず、フェイスブックなどでカップラーメンが少ないというと全国から集まってきてしまい無駄になる。全国青連ではフェーズ1～3まで段階的に応援体制を決めている。

群青連では来年度県としての災害時のルールを決めていく予定となっている。千代田町商工会・青年部でも全国から支援が来た時に、どのように連携を取っていくのか町と決めていく必要があると思っている。

#### 川田議員

そう言う組織ができていますのであれば、我々が町に話をしてもいいですし、早いうちに町と協議する機会を作っていきたいと思う。

#### 座長(襟川議長)

自主防災組織の横のつながりはないので、ある組織の会長が連絡協議会を作っていく必要があると話していた。

#### 座長(田熊顧問)

自主防災組織と商工会青年部が組織として一同に会すればいい組織ができるのではないかと思う。

次の質問を酒巻部員お願いします。

#### 酒巻部員

3番町の将来についてのところで子育て支援について質問いたします。

少子高齢化の社会の中で子育て世代を取り組むため各市町村が色々な制度や設定で頑張っているが、出産一時金という祝金的な物が千代田町にはないが、今後町では設定をしていく予定はあるのか？

近隣の邑楽郡や太田市、館林市を調べてきたので発表いたします。明和町は出産祝い金として第1子10万円、第2子20万円、それ以降は30万円が出ている。邑楽町は第1子から出産祝い金として5万円、第2子が10万円、第3子以降が20万円となっている。大泉町と館林市に関しては千代田町と同様出していない。太田市は子育て支援事業として第3子以降は出生時に祝金として10万円が支給されている。その中でもユニークなのが板倉町で、子育て支援金という名目で出生時と小学校入学前の計2回にわたり第1子が3万円ずつ、第2子が4万円ずつ、第3子以降が6万円ずつ支給されている。自分も千代田町で昨年第3子が誕生し日々忙しく子育てをしているが、お金は貰えるにこしたことはない、いい報告が妻にできるよう皆さんの意見を聞いていきたい。

#### 柿沼議員

お祝い金に関しては、現状ではないが昔はあった。(※補足：平成17年度より子どもの医療

無料化のため財源に移行)今は学童保育所などのハード整備に充てて待機児童を作らないような政策をとってきた。ふるさと納税で入ってくるお金をソフト事業として紙おむつなどに使える育児用品のクーポン券を発行している茨城県の境町のように、千代田町でもどうかと一般質問をしたことがあったが、町ではふるさと納税が増えればそのようなソフト事業も考えていきたいとの回答があったので期待をしている。

#### 青木議員

今はどこの自治体も独自の政策を持って子育て支援を行っている。近隣の現状を報告いただいたが千代田町でもそれに負けない政策を持っている。主なものを挙げて見ると補助金では全国的な共通した制度もあるが、中学校終了前までの児童手当が3歳から小学終了前1万円、第3子以降は1.5万円、中学生に1万円が支給されているほか特例給付金として児童一人当たり5千円が支給されている。また、福祉医療では中学校3年まで自己負担なしで診療が受けられる。色々なところに視察に行くが、逆に千代田町はいいですねと言われることがあり決して千代田町が劣っているとは思っていない。

酒巻部員が言うように他にあってこの町のないようなものについてはこれから拡充していきたい。

#### 酒巻部員

医療費や児童手当に関しては全国的なので、その上の独自の特色が出れば魅力的な町になる。

#### 青木議員

町もこれから人口が減るなか少しでも人口を増やすようにするには、若い人に移住してもらい子育ての条件が良く「子育ては千代田町」となれば最高となる。

今話を肝に銘じて議会でも取り組んでいきたい。

#### 酒巻議員

昨年もこの懇親会の中にでて自分なりに勉強をした。自分の子は第1子が大泉で生まれ、第2子目を千代田町で育てた。大泉町は育児補助金が出ているが、千代田町としては財源がないのでまず財源を確保する必要がある。今千代田町が独自としてやっているのが生まれた時には支給できないが、小学1年生からALTを入れて英語に親しんでもらっているように千代田町では英語教育を重点に置き、先進地として取り組んでいる。

中学校では英語検定の受験料の全額補助は、県内を見ても千代田町のみで多い所でも半額補助。

高校生以上は交通網が発達していないので、遠方に通学するための交通費2分の1、上限1万円補助も行っているほか、この4月1日から始まる放課後子ども教室、中学生には学力を上げるための未来塾などのソフト面で、町として独自事業を実施している。どうせ生むなら、どうせ家を建てるなら千代田町となることを訴えていきたい。

座長(田熊顧問)

今群馬県で消滅可能性都市と言われている20町村の中に千代田町は入っていないが、隣の大泉町邑楽町は入っている。20-30代の子供を産める女性が多くいる町が強い町になるのでは思うのでなるべく子育て世代を千代田町に引き込んでいくのが大事と思うので、お金が無いことには何もできないが夕張市のようになる訳にはいかない。

目新しいことも何か必要であるが自分たちもふるさと納税をやって予算を作っていきます。

では最後に畑中監事お願いします。

畑中監事

今後のまちづくりの計画について質問いたします。

議員の皆さんには色々と考えていただいていることが分かったが財政面ではまだまだキツイし人口も減ってきているなか、雇用を増やすことに取り組んでいると思うが東地区では子どもの数が増えていない、雇用が増える環境になっても住むとことがあまりない。若い世代には家を造ることは大変なので、雇用が増えたときには一時的に住める場所があればよいのではと考えている。

これから都市計画道路や都市計画を見直していく予定があれば、財源不足を商工会の会員として新たな財源を産む観光の部分でお手伝いができるのではと思うので、計画見直しの際は商店が容易に展開できるような見直しをしていただきたい。

高橋議員

都市計画道路は中断しているのは、東日本大震災の復興に充てられていて国の補助が付かないためであるが、あのままでは仕方ないので町が借金をしてでも進め、川俣駅まで一本で行けるようにする計画であり町は今年度中に着手し、町長も任期中には完成させると言っている。他の都市計画道についてはここが完成してから、大型バスが簡単に入ってこない役場の東側道路も随時計画に入れてやっていく。

畑中監事

都市計画道が開通すれば車の流れが変わってきて赤岩の商店街が寂しくなってくる。

逆に大型車が入ってこなければ屋台など出すことも可能で、商工会は町の活性化や町づくりをしていこうと望む人たちが集っており、計画策定の際は行政・議会だけではなく町づくり制定基本条例を制定し、みんなが参加できるようにしてもらいたい。

高橋議員

畑中監事の言う通り。

おもてなしマラソンもそうであるがまだ町民を巻き込んでいない。沿道の応援やゴールの迎えが少なかった。町の活性化は一部の人のみではなく多くの町民が参加しないと盛り上がらない。

4月にはさくら祭りもあるのが町外から来るのも大切だが、まず町内で盛り上がらないといけない。是非全員参加型のイベントを企画してってください。

座長(田熊顧問)

さくら祭りには青年部も参加する是非議員さんたちも盛り上げため、全員参加型ということで産業祭と同じように出ていただけないか？

金子部員(さくら祭り実行委員長)

是非議員の皆様にも参加いただき支援者もたくさんいると思うので、その人たちもかけていただき盛り上げて欲しい。

川田議員

最近イベントが多いのでできるかどうかかわからないが相談してみます。地域を盛り上げるためにはいいことなので協議させてください。

座長(田熊顧問)

金子実行委員長が言ったように、議員の皆さんの後ろにいるたくさんの支援者を巻き込んでいただけると盛り上がると思うので是非協力をお願いします。

畑中監事

いろいろなご意見をいただきありがとうございます。立場立場が違うが思いは同じと思っているので今後もよろしく願いいたします。

大谷議員

ふるさと納税について斉藤部長と坂本副部長に質問します。

生ものは例年通りできるのかという不安があると思うが、注文を受けるのに支障はないか？

斉藤部長

出荷側と密な連絡を取り、発送も相手方がいることを確認しながら対応している。

坂本部長

同様に心配している。生野菜だけではなく加工品にも取り組み未熟ではあるが千代田町として出していけるよう頑張っていきたい。

座長(襟川議長)

青年部の皆さんから貴重なご意見をいただいたので、今後全体もしくは所管に分かれ

て協議をしていく中でこれからの議会活動に役立てていきたいと思ひますし、また執行部に提言していきたい。これからも皆さんのご意見をいただきたいと思ひますし、これからの商工会青年部のご活躍を祈念して終了いたします。

原口副部長

大変貴重なご意見をありがとうございました。

以上をもちまして議会・商工会青年部意見交換会を閉会いたします。